

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年2月12日 No. 13

魅力いっぱいのにぎニデーに参加しよう

代表団の半数を青年が占める **北海道**

3・1ビキニデー北海道代表団は、ここ数年の実績を大きく上回る12人が参加します。このうち、半数が30歳以下の青年です。岩淵尚事務局長は「広島・長崎・ニューヨークに向けた出発点として大いに頑張っていきたい」と話しています。

青年代表参加へ補助金支出決める **栃木**

栃木県原水協は3・1ビキニデー成功へむけ、経済的に困難な青年(35歳未満)には、ちひろカレンダーの売り上げの一部を基金として一人5000円を補助することを決め、代表の選出にとりくんでいます。

福田台事務局長は「とにかく運動の幅をひろげるために、一人ひとりに声をかけ代表を増やしていきたい」と述べています。

3・1ビキニデーめざし学習講演会 **山梨**

山梨県原水協は2月6日、3・1ビキニデー集会へのとりくみをめざした学習講演会を開き、役員を中心に20人が参加しました。非核の政府を求める会の常任代表・藤田俊彦氏が講演し、オバマ氏の登場も含め変化する世界や2010年への展望を学びました。

若者が寒風の中手をかじかませながら **大分**

大分県原水協と大分市原水協は2月9日、大分市の中心部のトキハデパート前で6・9行動を行いました。大分市原水協・広次さんの「いま、核兵器のない世界を求める流れが国際的にも大きなうねりとなっています。2010年NPT再検討会議に向けて被爆国日本からさらに運動を広げていきましょう」との訴えに応え、中学生や若者などが寒風の中で手をかじかさせながら署名に応じていました。また、「本当に核兵器はなくしたいですね。頑張ってください」とカンパしていく人も。行動には6団体8人が参加し、署名67筆1400円のカンパが寄せられました。

タクシー運転手がお客に薦める **長崎**

2月9日平和公園で6・9署名行動にとりくみました。新婦人2名、年金者2名、事務局1名の5名。署名数は、一時間で157筆でした。今日は、若い家族連れの観光客、個人タクシーの運転手さんは、お客さんに「原爆をなくせという署名ですよ。協力してください」とお客に薦める場面もありました。

被爆地の願い届くか!?

ブルーリッジ乗組員が

原爆資料館見学 **長崎**

2月5日から9日まで長崎港に寄港していた米海軍第7艦隊旗艦ブルーリッジ(横須賀基地配備)の乗組員が6日に長崎原爆資料館を見学したと7日付『長崎新聞』が報道しています。記事によると、午前11時2分で止まった時計や大やけどを負った被爆者の写真などを真剣な表情で見つめており、ある乗組員(24)は「惨状をリアルに表した展示。ショックだった」。別の乗組員(50)は「世界中の核兵器が減ることはいいこと」と話しました。